留萌市の財政事情

留萌市の財政は本当に危ないのか！

バランスシートで診断 市の財政はやっぱり重症!?

留萌市では、財政状況について、これまでも様々な方法で分析してきましたが、今回、国のマニュアルに沿った「バランスシート」（貸借対照表）を作ってみました。では、タカハシ教授の解説で、留萌市のバランスシートを見てみましょう。

バランスシートってなに？

まず、企業と市役所の仕事の違いを考えてみましょう。

企業の目的は「利益の追求」ですが、市役所の仕事の目的は「市民の福祉（幸せ）の向上」です。

そのため、企業のバランスシートは、債務弁済能力（借金を返す力）や損益計算（収益とコストの関係）を、株主などに説明するための『補助資料』となります。

一方、市のバランスシートは、市の資産とその財源の調達（資金集め）の状況などを、市民にお知らせする『財政事情を説明する資料』のひとつとなります。

例えば「これまでは道路や市営住宅などの資産が多かったので、今後は他の資産も」という投資（市の仕事）の方向性を考える場合などに有効な資料となります。

しかし、バランスシートだけで、市全体の仕事の成果や財政状況を判断するには無理があります。

それは、福祉施策などのソフト事業の経費は、資産形成に結びつかないため、バランスシートでは表すことができないからです。

資産と負債は何億円!?

では、「留萌市のバランスシート」を見てみましょう。【表】

表の左側では、道路や学校などの市の「資産」の額（公共サービスの提供能力）が分かります。

資産の合計は約491億円で、そのうち公共施設などの有形固定資産が約441億円。

なかでもウエイトが高いのは、土木費の約250億円（市営住宅、道路など）と教育費の約100億円（学校、公民館など）です。

「流動資産」（手持ちの現金）は、7億5千万円ですが、市税や各種使用料（市営住宅家賃など）などに、多額の「未収金」があり、これは不良債権に変わる可能性もあるので、流動資産が多ければいいとは言えません。

表の右側では「資金の集め方」（財源の調達）が分かります。

「負債」は約295億円で、その主なものは「地方債」（借金）です。

「正味資産」は約195億円。国・道の補助金や市税などの自己資本のことで、これが少ないと、将来の借金返済が多いということです。

◀ 経営診断博士　タカハシ教授（財政課主査）

留萌市のバランスシート

資産		
項目	実数	市民一人当たり
資産の部	490億6千万円	171万2千円
流動資産	7億5千万円	2万6千円
投資等	41億9千万円	14万6千円
有形固定資産	441億2千万円	153万9千円
（うち用地）	（77億3千万円）	（27万円）
土木費	250億円	87万2千円
教育費	99億6千万円	34万7千円
その他	91億6千万円	32万円

負債と正味資産		
項目	実数	市民一人当たり
負債の部	295億3千万円	103万円
固定資産	278億7千万円	97万2千円
地方債	253億2千万円	88万3千円
退職給与引当金	25億2千万円	8万8千円
債務負担行為	3千万円	1千円
流動負債	16億6千万円	5万8千円
地方債翌年度償還予定額	16億6千万円	5万8千円
正味資産の部	195億3千万円	68万1千円
国庫支出金	146億4千万円	51万1千円
道支出金	14億3千万円	5万円
一般財源	34億6千万円	12万1千円
負債と正味資産の計	490億6千万円	171万2千円

①作成基準日：平成12年3月31日　②対象：一般会計　③昭和44年度から平成11年度までの「決算統計」データを使用　④基準日人口：28,664人　＊端数処理のため、項目計が合わない場合があります。

財布の中身は一万円!?

実数を市民1人当たりに換算すると、資産は171万円、負債は103万円となります。

「やりくりが苦しい」と言っても、公共施設を売るわけにもいかず、投資に回した資金（投資等）も手元にありませんから「手持ちの現金」（流動資産）は、2万6千円だけ。しかも、この中に未収金が1万6千円あるので、実質は「1万円！」という状況です。

バランスシートで診断!?

それでは、この内容を企業の指標と比べてみましょう。

①【流動比率】45・3％

「流動負債」に対する「流動資産」の割合で、短期（1年以内）の経営の安全性を見る数字です。目安は140％以上。

翌年度の地方債（借金）の返済に対して、資金をいくら持っているかが分かります。留萌市の場合、手持ちの現金が少なく、借金の返済以外に回せる「自由な資金」が不足しています。

②【固定比率】225・9％

「正味資産」（自己資金）に対する「有形固定資産」（公共施設など）の割合で、長期の経営の安全性を見る数字。目安は100％以下。

この比率が高いと、公共施設建設などに対する借金の割合が高いということです。留萌市が資産形成で借金に依存しているのが分かります。

問題は財政の硬直化

この指標と目安は民間企業で使うものなので、単純に比較し、分析することはできません。

また、行政のバランスシート自体がまだ確立されていないことや、全ての自治体で作成されていないため他市との比較もできません。

この2つの指標だけで見ると、確かに「借金は多い！」のですが、その返済の約半分は国からの地方交付税で補われるため、全てが市民の負担とはなりません。

しかし、留萌市の場合、公債費（借金の返済）の負担でも、全道の都市平均より高く、財政が硬直化している（自由に使えるお金が少ない）のは事実です。

そのため、市は「財政健全化計画」により、財政の健全化に取り組んでいます。

その進み具合も含め、市のさまざまな財政事情については、また別の機会にお話します。

問合せは…企画財政部財政課財政係　☎42－1801（内線225）